

ディーラーの独り言（2018 年 1 月 31 日）

◆本日の予想レンジ

ドル円 108.50～109.50

昨日の主要国の株式市場は軒並み調整の動きが強まった。日経平均株価は前日比 337 円安、ニューヨーク株式市場もダウ平均が 362ドル安となった。リスクオフの強まりに月末要因が加わり、トランプ大統領の一般教書演説(日本時間 31 日午前 11 時)も控えているとあって、ポジション調整が進んだのだろう。またニューヨーク時間序盤にロシアゲート疑惑を巡りマケイブ FBI 副長官が辞任したことからトランプ政権の先行き不安が高まり、米国経済に対する懸念を強めたことも影響したようだ。このためドル円はニューヨーク時間に 108 円 42 銭まで下げ、前日の安値を割り込んだ。今週月曜日から持ち続けていたショートポジションも 108 円 50 銭水準でいったん利益を確定させた。この後、先週はドル安容認発言をしたムニューシン米財務長官が「長期的な米国の利益にかなう強いドルを支持」と発言、ドル円の買戻しが優勢となり、109 円手前まで戻した。先週以来、ムニューシン財務長官の一貫性のない発言に振り廻されっぱなしだ。今日はトランプ大統領による一般教書演説があるが、先週は強いドル支持の発言をしていたが、中間選挙を睨んで真逆の発言が飛び出す可能性もあり要注意だろう。ただ、ドル円に関して言えば、ムニューシン財務長官がドル安容認発言をする前の 110 円台には戻っておらず、依然として上値の重い展開は続きそうだ。一般教書演説前はポジションを持ちづらいが、109 円を挟んで上下 50 銭のレンジで臨みたい。

※「ディーラーの独り言」は 2018/1/31(水)をもって廃刊となります。

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。